



Sun Fire™ V20z および Sun Fire V40z サーバー

診断用起動 CD マニュアル

Sun Microsystems, Inc.
www.sun.com

Part No. 819-2933-10
2005 年 7 月, Revision A

コメントの送付: <http://www.sun.com/hwdocs/feedback>

Copyright 2005 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, California 95054, U.S.A. All rights reserved.

米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします)は、本書に記述されている技術に関する知的所有権を有しています。これら知的所有権には、<http://www.sun.com/patents>に掲載されているひとつまたは複数の米国特許、および米国ならびにその他の国におけるひとつまたは複数の特許または出願中の特許が含まれています。

本書およびそれに付属する製品は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。サン・マイクロシステムズ株式会社による事前の許可なく、本製品および本書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

本製品のフォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権法により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company Limited が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

本製品は、株式会社モリサワからライセンス供与されたリュウミン L-KL (Ryumin-Light) および中ゴシック BBB (GothicBBB-Medium) のフォント・データを含んでいます。

本製品に含まれる HG 明朝 L と HG ゴシック B は、株式会社リコーがリョービマジクス株式会社からライセンス供与されたタイプフェイスマスタをもとに作成されたものです。平成明朝体 W3 は、株式会社リコーが財団法人日本規格協会 文字フォント開発・普及センターからライセンス供与されたタイプフェイスマスタをもとに作成されたものです。また、HG 明朝 L と HG ゴシック B の補助漢字部分は、平成明朝体 W3 の補助漢字を使用しています。なお、フォントとして無断複製することは禁止されています。

Sun, Sun Microsystems, AnswerBook2, docs.sun.com, Sun Fire は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems 社の商標もしくは登録商標です。サンロゴマークおよび Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャーに基づくものです。

OPENLOOK、OpenBoot、JLE は、サン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

ATOK は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。ATOK8 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK8 にかかる著作権その他の権利は、すべて株式会社ジャストシステムに帰属します。ATOK Server/ATOK12 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK Server/ATOK12 にかかる著作権その他の権利は、株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

本書で参照されている製品やサービスに関しては、該当する会社または組織に直接お問い合わせください。

OPEN LOOK および Sun™ Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザーおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザーインターフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

U.S. Government Rights—Commercial use. Government users are subject to the Sun Microsystems, Inc. standard license agreement and applicable provisions of the FAR and its supplements.

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われぬものとします。

本書には、技術的な誤りまたは誤植のある可能性があります。また、本書に記載された情報には、定期的に変更が行われ、かかる変更は本書の最新版に反映されます。さらに、米国サンまたは日本サンは、本書に記載された製品またはプログラムを、予告なく改良または変更することがあります。

本製品が、外国為替および外国貿易管理法 (外為法) に定められる戦略物資等 (貨物または役務) に該当する場合、本製品を輸出または日本国外へ持ち出す際には、サン・マイクロシステムズ株式会社の事前の書面による承諾を得ることのほか、外為法および関連法規に基づく輸出手続き、また場合によっては、米国商務省または米国所轄官庁の許可を得ることが必要です。

原典:	Sun Fire V20z and Sun Fire V40z Servers—Guide for the Bootable Diagnostics CD
	Part No: 819-1810-10
	Revision A



目次

Sun Fire™ V20z および Sun Fire V40z サーバーの診断用起動 CD	1
はじめに	1
関連マニュアル	2
ユーザーマニュアル	2
CD ベースの診断テストのインストール	3
メニューオプションの使用	4
CD ベースの診断テストへの遠隔アクセス	5
テスト結果の保存	5

Sun Fire™ V20z および Sun Fire V40z サーバーの診断用起動 CD

はじめに

注 – 診断用起動 CD を使用するには、サーバーで NSV 2.2.0.6 以降が動作している必要があります。

このマニュアルでは、Sun Fire™ V20z または Sun Fire V40z サーバーの診断用起動 CD について説明します。

診断用起動 CD では、次の処理を行うことができます。

- サービスプロセッサおよびプラットフォームの両方に対してテストを実行する
 - プラットフォームのみに対してテストを実行する
 - (CD の起動後) SSH を使用して CD にログオンし、遠隔からテストを実行する
 - テスト結果を USB 記憶装置またはフロッピーディスクに保存する
-



注意 – 診断用起動 CD から診断を実行している間は、コマンド行インタフェースや IPMI を介して、サービスプロセッサ (SP) またはプラットフォームと対話しないでください。

診断の実行中は、センサーコマンドを確実に実行できません。診断の読み込み中にセンサーコマンドを実行すると、誤った結果になったり、間違った重大イベントがイベントログに記録されたりする場合があります。この場合、センサーが返す値は信頼できるものではありません。

関連マニュアル

障害追跡に関する注意事項および診断テストの説明については、『Sun Fire V20z および Sun Fire V40z サーバー—障害追跡手法および診断マニュアル』(819-2928)を参照してください。

コマンド行から実行できるすべての診断コマンドの一覧については、『Sun Fire V20z および Sun Fire V40z サーバー—サーバー管理マニュアル』(819-2923)を参照してください。

ユーザーマニュアル

Sun Fire V20z サーバーおよび Sun Fire V40z サーバーの両方に関する最新のユーザーマニュアルは、次の Web サイトで参照してください。

http://www.sun.com/products-n-solutions/hardware/docs/Servers/Workgroup_Servers/Sun_Fire_V20z/index.html

このサイトでは、ユーザーマニュアル、リリースノート、および顧客交換可能ユニット (CRU) に関する個々のマニュアルが参照できます。

サイト上のマニュアルが、使用しているマニュアルよりも新しいかどうかを確認するには、マニュアルの Part No. の下 2 桁 (ダッシュ以降) を調べてください。

CD ベースの診断テストのインストール

CD ベースの診断テストをインストールするには、次の手順を実行します。

1. Sun Fire V20z and Sun Fire V40z Servers—Bootable Diagnostics CD をドライブに挿入します。
2. 必要に応じて、BIOS 設定内の起動順序リストで、オプション「Boot from CD-ROM」が先頭にあることを確認します。
3. サーバーを起動または再起動します。

CD から起動すると、プラットフォーム IP アドレスが表示されます。遠隔から SSH を使用する場合は、この IP アドレスを使用できます。詳細は、5 ページの「CD ベースの診断テストへの遠隔アクセス」を参照してください。

CD の起動処理が完了すると、CD 診断メニューが画面に表示されます。メニューオプションを使用して、テストを実行しシステム情報を取得できます。また、コマンド行インタフェース (CLI) を使用することもできます。

注 – CLI からこれらのテストを起動するには、**diags start** と入力します。

メニューオプションの使用

メニューオプションを使用すると、すべての診断テストを実行し、USB 記憶装置またはフロッピーディスク上にシステム情報を取得する手順を簡略化できます。

1. 「View Documentation」 マニュアルを表示するには、このオプションを使用します。このオンラインマニュアルでは、次の項目について説明しています。
 - すべてのメニューオプション
 - 役立つヒント
 - 既知の問題
 - コマンド行から実行可能なコマンド
 - 遠隔マシンから SSH を使用する場合の注意事項
 - その他の重要な情報
2. 「Run from Prompted Interface and create run_commands.sh」 テストを実行して、システム情報をログファイルに保存するには、このオプションを使用します。

このオプションでは、3つのプロンプトが連続して表示されます。プロンプトに従って進んでいくと、スクリプトが作成され、保存したログファイルと同じ場所に格納されます。このスクリプトを使用すると、複数のマシンに対して処理を実行できます。
3. 「Go to Command-Line Interface」 コマンド行インタフェースにアクセスするには、このオプションを使用します。

注 – コマンド行から実行できるすべての診断コマンドの一覧については、『Sun Fire V20z および Sun Fire V40z サーバー—サーバー管理マニュアル』(819-2923) を参照してください。

4. 「Reboot System」 サーバーまたはプラットフォームを再起動するには、このオプションを使用します。
5. 「Run /floppy/run_commands.sh」 フロッピーディスクに保存したスクリプトを実行するには、このオプションを使用します (オプション 2 を参照)。
6. 「Run /usbstorage/run_commands.sh」 USB 記憶装置に保存したスクリプトを実行するには、このオプションを使用します (オプション 2 を参照)。

注 – 詳細な情報を参照するには、「1. View Documentation」を選択してください。

CD ベースの診断テストへの遠隔アクセス

SSH ネットワークを介して遠隔からスクリプトを使用するには、次の手順を実行します。

1. ユーザー `setup` でプラットフォーム IP アドレスに SSH を実行します。
新しいアカウントを作成するために、ユーザー名およびパスワードの入力を求めるプロンプトが表示されます。

2. ユーザー名およびパスワードを入力します。
次の値を除く、任意のユーザー名を使用できます。

```
diagUser
setup
root
```

3. 新しいユーザー名およびパスワードが妥当であると確認されると、ログオフされません。
これで、新しいユーザーアカウントを使用して、プラットフォームに対して SSH を実行できるようになります。

ログインすると、標準の診断コマンドを使用できます。すべての診断コマンドの一覧については、『Sun Fire V20z および Sun Fire V40z サーバー—サーバー管理マニュアル』(819-2923) を参照してください。

テスト結果の保存

コマンド行インタフェースから操作しているときに、診断テストの結果を保存する場合は、USB 記憶装置またはフロッピーディスクをマウントできます。

- USB 記憶装置をマウントするには、次のコマンドを実行します。
mount /usbstorage
- フロッピーディスクをマウントするには、次のコマンドを実行します。
mount /floppy
- 装置のマウントを解除するには、次のコマンドを実行します。
umount /<usbstorage | floppy>

